

2019年度 香川大学グローバル人材育成特定基金事業

<募集要項>

I 目的

この事業は、香川大学グローバル人材育成特定基金運営要項に基づき、本学のグローバル化の推進を図ることを目的としています。

II 援助対象事業

援助対象事業は次のとおりとし、交付された年度内に実施、又は開始されるものとします。各事業の項目は1～3のとおりです。

1. 外国人留学生奨学援助事業

外国人留学生の本学への円滑な受入れ及び外国人留学生の本学入学後の学習効果の向上に資するため、経済的な援助を必要とすると認められる者に対し奨学金の支給を行う事業

2. 外国へ留学する学生援助事業

本学と外国の大学等（語学学校含む）との合意に基づき留学する学生に対し奨学金の支給等を行う事業

3. その他国際交流援助事業

1) 部局が実施する交流協定校等への短期訪問支援事業

日本人学生の留学促進に資するため、外国の協定校等を短期訪問するプログラムの実施を支援する事業

2) 部局が実施する外国における正規生リクルート支援事業

留学生獲得に資するため、外国における入学説明会または入学試験等の実施を支援する事業

III 応募資格

「1. 外国人留学生奨学援助事業」及び「2. 外国へ留学する学生援助事業」：本学の学生
当該部局等の教員が推薦、申請するものとします。ただし、「1. 1) 外国人留学生奨学援助事業 (A)」については、指導教員の所見と併せて学生本人が申請するものとします。

「2. 外国へ留学する学生援助事業」については、本資金により過去3年間に援助を受けた者は、当該事業への応募資格はありません。

「3. その他国際交流援助事業」：部局の長

1部局につき申請は1件のみとします。

IV 応募方法

応募者は、援助対象事業ごとに所定の申請書及び必要な添付書類等を作成し、所属部局長等を通じて国際グループへ提出してください。その際、書類は白黒とし、添付書類は簡潔に数枚にまとめてください。申請にあたっては、変更が生じることをないように綿密な計画を立ててください。

V 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において、書類選考並びに必要なに応じて面接等を行い決定します。場合により、追加資料の提出を求める場合があります。

選考は提出された計画に基づいて行われます。採択後に計画変更が生じることをないように充分ご留意願います。

本援助事業に対しては、原則として他の基金等から重複しての受給は認められません。重複して採択された場合は、いずれかを辞退願います。

VI 報告

援助事業に採択された場合は、事業終了後、1ヶ月以内に所定の事業実施報告書及び支出報告書を作成し、所属部局長等から国際グループへ提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

なお、報告書は、適宜、公表します。また、実施報告会で報告して頂くことがあります。

VII 事業計画の変更について

採択後に止むを得ず事業計画変更等の必要が生じた場合は、原則として事業実施の1ヶ月前までに所属部局長等を通じて国際グループへ提出してください。変更事由等によっては認められない場合もあります。

なお、事業計画変更の了承をとらずに実施した場合には、支給額を返還して頂きます（本人の責によらないものを除く）。

VIII その他

部局等に配分された予算の採択者への支払は、各部局の判断により適切な時期に行ってください。

1. 外国人留学生奨学援助事業

1) 外国人留学生奨学援助事業 (A)

(1) 対象者及び条件

2019年4月以降、本学に在学する正規の私費外国人留学生（愛媛大学大学院連合農学研究科を含む）で、部局長等が推薦し、学業・人物等に優れ、学費の支弁上、経済的な援助を要すると認められる者とします。修業年度を超えて在籍するものは対象外とします。

ただし、外国政府派遣留学生及び香川県招致留学生並びに2019年4月以降他の団体から、1年以上継続して月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定している者は除きます。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業 (B) との併給は認められません。

(2) 募集人員 7人程度

(3) 募集期間 2019年3月11日（月）～4月11日（木）

(4) 支給額 月額25,000円

(5) 支給期間 2019年4月から2020年3月までの1年間

(6) 申請書等

- ① 2019年度香川大学グローバル人材育成特定基金事業（外国人留学生奨学援助事業（A））及び私費外国人留学生対象民間奨学金等申請書（様式1-1）
- ② 指導教員の所見（厳封されたもののみ有効）

(7) 選考方法

私費外国人留学生対象民間奨学金等奨学生の選考と併せて行います。

書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式4-2）を作成し、所属部局長等から国際グループに提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

(9) その他

- ① 毎月15日までに部局窓口で在籍確認簿（様式4-1）に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。ただし、母国に一時帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の援助金を支給しません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金を支給しません。
 - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
 - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合
 - (ウ) 他の団体から1年以上継続する月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
 - (エ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合

2) 外国人留学生奨学援助事業 (B)

(1) 対象者及び条件

2019年4月以降に在籍し、部局の長等が推薦する以下の者。

学術交流協定校出身の私費外国人のうち、ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食の安全」プログラムを含む、大学が推進する特別なプログラムによる学生。ただし、独立行政法人 日本学生支援機構の「海外留学支援制度（協定受入れ）による短期留学生」及び他の団体から奨学金を受けることが決定している者は、奨学金受給金額の合計が月額10万円を超えない額を支給するものとします。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業 (A) との併給は不可です。

(2) 募集人員 4人

(3) 募集期間 2019年3月11日(月)～3月19日(火)

(4) 支給額 月額48,000円以内

(5) 支給期間 1年以内

(6) 申請書等

外国人留学生奨学援助事業 (B) 申請書 (様式1-2)

(7) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書(様式4-2)を作成し、所属部局長等から国際グループへ提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

(9) その他

- ① 毎月、15日までに部局窓口で在籍確認簿(様式4-1)に署名をしたうえで、奨学金の支給を受けること。ただし、母国に一時帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の奨学金を支給しません。
- ② 奨学金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の奨学金は支給しません。
 - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
 - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合
 - (ウ) その他本奨学金を受給する者として不適格と認められた場合

3) 外国人留学生奨学援助事業 (C)

(1) 対象者

2019年4月以降本学に在籍し、部局の長等が推薦する以下の者。

- ① 本学との学術交流協定に基づき、海外の大学に在籍したまま1年以内の期間受け入れる特別聴講学生・特別研究学生
- ② 本学が海外教育研究交流拠点及び^{*}重点地域と位置付けた協定校に在籍する者

※ 重点地域とは、香川大学が国際戦略上のメインターゲットとする「ASEAN+中国、韓国、台湾」を指します。

(2) 募集人員 第1期(2月) 2人程度
第2期(7月) 2人程度

(3) 募集期間 第1期 2019年2月1日(金)～2月12日(火)
第2期 2019年7月16日(火)～7月24日(水)

(4) 支給額 月額25,000円

(5) 支給期間 第1期 2019年4月から2020年3月までの1年間
第2期 2019年10月から2020年9月までの1年間

(6) 申請書等 外国人留学生奨学援助事業(C)申請書(様式1-3)

(7) 選考方法 香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書(様式4-2)を作成し、3月31日までに所属部局長等から国際グループへ提出してください。

(9) その他

- ① 毎月、15日までに部局窓口で在籍確認簿(様式4-1)に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。母国に帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の援助金は支給いたしません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金は支給いたしません。
 - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
 - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合
 - (ウ) 他の団体から、月額3万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
 - (エ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合
- ③ 第1期に何らかの理由で不採択になった者が、第2期に再申請する場合、4月に遡って支給することはいたしません。

4) 外国人留学生奨学援助事業 (D)

(大学推薦 (一般枠) 大学が旅費を負担する者の渡日旅費)

(1) 対象者

2019年度大学推薦による国費外国人留学生 (研究留学生) の一般枠推薦者のうち、大学が旅費を負担する者として採用された者。文部科学省高等教育局長による決定通知に基づく採否一覧によるものとします。

(2) 支給額 文部科学省の「国費外国人留学生等渡日旅費及び帰国旅費支給要項」に準じます。

(3) 選考方法 香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

2. 外国へ留学する学生援助事業

(1) 対象者

2019年度に外国の大学等へ留学する本学の学生で次の各号の一に該当し、部局の長等が推薦する者。

① 学部または大学院に在籍している者で、3ヶ月（1クォーター相当）以上留学する者

大学等での在学期間を留学期間とし、移動日は含みません。年度内に事業が開始されるものに限
り、次年度へ跨ることを可とします。

語学研修での留学も含まれますが、その場合には協定校等が開講している語学研修や、生協等によ
り実施され充実した内容であることがプログラム（受講内容が明示されたもの）等により証明で
きるものに限りま

なお、相手先大学等の学期の始まりが2019年1月以降の場合、留学期間が2019年度に跨り3ヶ
月（1クォーター相当）以上となることを前提に、当該事業の対象とします。

また、年度内に複数回留学し、合算した期間が3ヶ月以上に相当する者も対象とします。さらに、
過去に留学した期間があり、当該留学（年度内）に係る申請期間を合算すると3ヶ月以上に相当す
る者についても対象とします（1クォーター相当は不可）。

② ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム等により外国の大学へ留学する者

(2) 募集人員

- ① 第1期（1月） 5人程度
- ② 第2期（4月） 5人程度
- ③ 第3期（7月） 5人程度
- ④ 第4期（10月） 5人程度

(3) 募集期間

- ① 第1期 2019年1月7日（月）～1月18日（金）
- ② 第2期 2019年4月8日（月）～4月19日（金）
- ③ 第3期 2019年7月8日（月）～7月19日（金）
- ④ 第4期 2019年10月7日（月）～10月18日（金）

(4) 支給額

準備金60,000円+30,000円/月

(5) 申請書等

外国へ留学する学生援助事業申請書（様式2）。また、以下の書類を添付してください。

① 相手大学等との受入についての交渉状況が分かるもの（ない場合はその理由）

（ア）私費で留学する場合には、相手大学の受入れ承認を示すもの

（イ）交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合には、相手大学と本学部局等の承認を示
すもの

（ウ）語学研修の場合には、プログラム等受講内容が証明できるもの

② 本学学部及び大学院の直近の成績表

③ TOEIC公式認定証等当該国言語のコミュニケーション能力を示す書類があれば、その写し

④ 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合、交流実績を示す書類

⑤ 大学以外へ留学する場合、留学先の詳細が分かる書類

- ⑥ 過去に留学した期間があり、当該留学に係る申請期間を合算すると3ヶ月以上に相当する者については、過去の留学期間、留学先及び、その内容等が確認できる書類

(6) 選考方法

- ① (1) 対象者①に該当する者 書類選考と15分ほどの面接を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。面接については、別途通知します。
- ② (1) 対象者②に該当する者 書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(7) 報告書

本援助事業を受給した者は、留学期間終了後1ヶ月以内に実施報告書(様式4-3、4-4)を作成し、所属部局長等から国際グループへ実施報告書を提出してください。

(8) その他

- ① 他団体等から留学のための奨学金(調査及び研究補助等による報酬含む。)を受ける際には、その平均月額が2万円を超えないこと。超える場合は併給を認めません。
- ② 本援助事業を受給した学生は、香川大学インターナショナルオフィス等の依頼に応じて、海外留学フェア等で帰国報告を行って頂く場合があります。
- ③ インターナショナルオフィスが指定する海外旅行保険に加入すること。
- ④ 渡航前に本学が開催する海外危機管理セミナーに必ず出席すること。
- ⑤ 準備金は募集開始時にすでに渡航している学生には支給されません。
- ⑥ 一度何らかの理由で不採択となった者が再申請する場合、準備金及び再申請前の留学期間分を支給することはできません。
- ⑦ (1) 対象者①に該当する者で、過去に留学した期間があり、当該留学に係る申請期間を合算すると3ヶ月以上に相当する者に対する援助については、当該申請に係る留学期間のみを対象とし、過去の留学期間に係る遡及しての援助は行いません。
- ⑧ (1) 対象者①に該当する者が、留学計画に変更が生じ、留学期間(合算した期間を含む)が3ヶ月に満たなくなった場合には、支給額を返還して頂きます(本人の責によらないものを除く)。

3. その他国際交流援助事業

1) 部局が実施する交流協定校への短期訪問援助事業

(1) 対象となる事業

- ① 語学研修、異文化交流・文化体験等を目的とし、学生の留学意欲を促進するプログラムであること。
- ② 低学年を対象とし、海外渡航経験がない者が参加可能なプログラムであること。

(2) 採択件数 4件程度（1部局につき1回のみとする）

(3) 募集期間 2019年5月24日（金）～6月7日（金）
採択件数に満たない場合は、秋期に再募集を行うことがあります。

(4) 支給経費 30万円程度

(5) 申請書等

- ① 部局が実施する交流協定校等への短期訪問援助事業申請書（様式3-1）
- ② 部局が実施する交流協定校等への短期訪問援助事業参加学生一覧（様式3-2）
参加学生が決定していない場合には、部局における学生の選考基準を提出してください。また、相手大学等との受入についての交渉状況を確認できる文書等を添付してください。

(6) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(7) 報告書

本援助事業を実施した場合は、終了後1ヶ月以内に、引率教員は実施報告書（様式4-5）及び支出報告書（様式4-7）を、参加学生は実施報告書（様式4-5）を作成し、所属部局長から国際グループへ提出してください。

(8) その他

- ① 参加する学生には、インターナショナルオフィスが指定する海外旅行保険に加入させ、危機管理セミナーを必ず受講させてください。
- ② 本事業経費は、部局の判断により引率教員及び学生に配分してください。その際、参加学生間に差異が生じないようにご注意ください。
- ③ 本事業は、参加学生の長期留学促進を目的としています。プログラム事前・事後指導時に、留学意欲向上を図る指導助言をお願いします。また、学生の追跡調査へのご協力をお願いします。

2) 部局が実施する外国における正規生リクルート支援事業

(1) 対象となる事業

- ① 国外で実施する正規生を対象とした入試または面接
- ② 国外で実施する正規生を対象とした入学説明会
- ③ 上記に準ずるイベント（①②に附随して行われる正規生以外を対象とした国外で実施するリクルート活動）

(2) 採択件数 2件程度（1部局につき1回のみとする）

(3) 募集期間 2019年5月24日（金）～6月7日（金）
採択件数に満たない場合は、秋期に再募集を行うことがあります。

(4) 支給経費 30万円程度

(5) 申請書等

部局が実施する外国における正規生リクルート支援事業申請書（様式3-3）

(6) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(7) 報告書

本事業を受給した場合は、受給期間終了後1ヶ月以内に、実施報告書（様式4-6）及び支出報告書（様式4-7）を作成し、所属部局長から国際グループに提出してください。

(8) その他

本事業費は、対象となる事業実施に係る経費であれば用途を問いません。ただし、内訳を明確に支出報告書に記載してください。

(様式1-1)

かがわだいがく じんざいいくせいとくていききん がいこくじんりゅうがくせいしょうがくえんじょじぎょう および
香川大学グローバル人材育成特定基金（外国人留学生奨学援助事業（A））及び
しひがいこくじんりゅうがくせいたいしょうみんかんしょうがくきんとうしんせいしよ
私費外国人留学生対象民間奨学金等申請書

ねん 年 がつ 月 にち 日

所属 学部 研究科
 学部 修士 博士 _____ 年 研究生

※2019年4月の時点での所属を記入してください。

在籍期間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ フリガナ _____

学籍番号 _____ 国・地域 _____

在籍期間 平成 _____ 年 _____ 月まで

○申請する奨学金 (どちらか一方の□にチェックをしてください。)

応募資格がある奨学金については、全て応募します。

応募資格を考慮したうえで、下にチェックをした奨学金に応募します。

※この場合、チェックした奨学金以外の奨学金には応募しないものとみなします。

- 香川大学グローバル人材育成特定基金外国人留学生奨学援助事業（A）
- ドコモ留学生奨学金
- 文部科学省 外国人留学生学習奨励費
- 公益財団法人倉岡奨学会奨学金
- JEES留学生奨学金（修学）

1. 1ヶ月の平均収入（配偶者の収入も含む。）を記入してください。

事 項	申請者本人	配偶者
仕送り額（A）	_____ 円	_____ 円
アルバイト等の収入（B）	_____ 円	_____ 円
平成30年度（2018年度）に 受給した奨学金（C）	奨学金名 _____ 受給期間 _____ 年 月 ~ 年 月	奨学金名 _____ 受給期間 _____ 年 月 ~ 年 月
1ヶ月の平均収入（=A+B+C）	_____ 円	_____ 円

※預貯金は上記に該当しません。

2. 研究論文・取得した資格について記入してください。

※研究論文・取得した資格とともに証拠となる書類を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

研究論文 _____ 編

※・申請時より5年以内の論文を対象とします。

- ・ファーストオーサーとして、査読付きの学術雑誌に掲載または査読付きの学会で発表した論文に限ります。
- ・別紙「研究業績一覧」を提出してください。また、論文タイトル・国際学術雑誌及び国際学会名・発行年・掲載ページ・著者・要旨が分かる書類を添付してください。(論文全文を提出する必要はありません。また、一度提出したものは再度提出する必要はありません。) 添付がなければ、選考の対象とはなりません。

TOEFL (IBT 、 CBT 、 PBT) _____ 点

TOEIC _____ 点

IELTS _____ 点

日本語能力試験 _____ 級 または N _____ 合格 総合点 _____ 点

J. TEST _____ 級 _____ 点

ビジネス日本語能力テスト (J 3 、 J 2 、 J 1 、 J 1 +)

※資格 (TOEFL、TOEIC、日本語能力試験など) の点数が記載している合格通知書を窓口を持参してください。その場で写しを取り、本紙は返却します。点数が分かる書類を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

以上のことについて、相違ありません。

また、以下の事項についても了承いたします。

※以下の事項を確認したうえで、にチェックをし、署名してください。

- 申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、大学において懲戒処分を受けた場合等により、各奨学金支給団体からの奨学金の支給が取り消されても、不服は申し立てられません。
- 本学での選考結果に関して、申請者に対しては推薦の可否以外については一切公表しません。

氏 名 _____

(自筆署名)

指導教員の所見

年 月 日

1. 申請者氏名 _____

2. 申請者の学修状況について

(例) 授業や研究室への出席状況、単位の修得状況、標準修業年限で卒業・修了見込みかどうか

3. 申請者の経済状況について（申請者及びその家族（配偶者）の合計収入月額が10万円を越える場合は、収入が多いにも関わらず奨学金が必要である事由について、詳細を記載して下さい。）

4. 申請者の人柄について

5. 自由記述

6. 日本語力（要件で日本語力を要求された場合に参照します。以下の目安が日本語で可能かどうか○を記してください。）

以下に記した内容が ほぼ問題なくできる (N1) ・ 何とかできる (N2) ・ できない (N3 以下)

大学の行事案内などのお知らせを読んで、集合時間、場所などがわかる。／趣味や週末の予定について会話ができる。／日常的な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。／（一般的な、専門以外の）ディスカッションで、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べるができる。／準備をしていれば、フォーマルな場で短いスピーチや、専門についての発表をすることができる。／その際の質疑応答もできる。

注) 本所見が事実と相違する場合、推薦を取り消すことがあります。以後、申請を認めないこともありますので、事実に基づき記載願います。

本所見は、応募要件を満たし、推薦に足る人物であるかを適正に判断するため、客観的視点に基づいて作成したものであることを証明します。

指導教員

所属学部等名 _____ 学部・研究科 _____ 氏 名 _____ 印 _____

注：厳封されたもののみ有効

(署名または記名押印)

外国人留学生奨学援助事業 (B) 申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、外国人留学生奨学援助事業(B) (正規課程の私費外国人留学生 (ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食の安全」プログラム等) のための奨学金) に推薦します。

記

フリガナ 留学生氏名 (ローマ字)		性 別	* 男 ・ 女	生年月日	年 月 日生
漢 字 名				国 籍 地 域	
受入学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学 部 学科・課程 年 研究科 専攻 特別聴講学生・特別研究学生 ダブルディグリープログラム・ジョイントプログラム・「食の安全」プログラム・その他のプログラム ()				
留 学 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日 (年・ケ月)				
本国での在籍 (出身) 大学					
推薦理由					
部局長の推薦順位 (2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい)				推薦順位	位

(注) 1. *印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。
 2. 各欄が不足する場合は枠を広げる等、適宜編集すること。

外国へ留学する学生援助事業申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、外国へ留学する学生援助事業に、学生を推薦します。

記

【指導教員記入欄】

留学を希望する 学生の氏名 学籍番号	(フリガナ)	性別	* 男・女	生年月日	年 月 日 生
所属学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程 専攻		年 次	
留 学 の 目 的					
留学を希望する期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (ヶ月)			留学の承認	* 既・未
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)				交流実績	* 有・無
留学先での勉強・研究計画の概要					
留学により期待される成果					
渡航に要する経費					
航空賃： 千円		滞在費： 千円		授業料等： 千円	
他の資金等への申請状況 (申請予定のものを含む。)					
資金等の名称：					
航空賃： 千円		滞在費： 千円		授業料等： 千円	
※算出方法					
成績評価係数 _____ (小数点第2位まで)		$\frac{「秀・優の単位数」 \times 3 + 「良の単位数」 \times 2 + 「可の単位数」 \times 1 + 「不可の単位数」 \times 0}{\text{総登録単位数 (不可の単位数含む)}}$			
(原則として、本学における推薦時の前年度の成績から算出するが、前年度の成績がない場合は、推薦時の前学期分から算出するものとする。なお、前学期の成績もない場合は、直近の成績から算出するものとする。)					
部局長の推薦順位 (2名以上推薦する場合は推薦順位をつけてください。)				推薦順位	位

- (注) 1. *印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。
 2. 留学の承認については、交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合は相手大学及び本学部局等の承認、それ以外の留学については、相手大学の承認について記載する。なお、留学に関する相手大学等との受入についての交渉状況が判る書類等を添付する。
 3. 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合は、交流実績を示す書類を添付する。
 4. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

【渡航者記入欄】

留 学 を 希 望 す る 学 生 の 氏 名 学 籍 番 号	(フリガナ)	性 別	※ 男・女	生年月日	年 月 日 生
所属学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学 部		学科・課程 専 攻	年 次	
留 学 の 目 的					
留学を希望する期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (ヶ月)				
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)					
留学先での勉学・研究計画の概要					
過去の留学期間 (今回の申請期間を合算して3ヶ月以上に該当する者のみ)					
(期間)	(留学先)	(留学内容)			
留学により期待される成果					

部局が実施する交流協定校等への短期訪問援助事業申請書

年 月 日

香川大学長 殿

申請者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、交流協定校等へ短期訪問したいので、これに要する経費の援助を申請します。

記

訪問先大学名 所在地	
訪問の目的	
旅行期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日)
訪問先での交流計画の概要 (参加予定学生数 人)	
訪問により期待される効果	
渡航に要する経費 (参加予定者の合計金額を記載する) 航空賃： 千円 滞在費： 千円	

- (注)
1. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。
 2. 参加学生が決定していない場合には、部局等における学生の選考基準を提出すること。
 3. 訪問に関する相手大学等との交渉状況が分かる書類等を添付する。

部局が実施する交流協定校等への短期訪問援助事業参加学生一覧

年 月 日

香川大学長殿

引率者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印 _____

下記の学生が参加することに決まりましたので、申請します。

記

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(フリガナ) 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日 生		
所属学部等	学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程	専攻 年次	コミュニケーション能力		語学検定等資格または点数	

(注) 学生のコミュニケーション能力の評価については、「A：支障なし」「B：少し支障有り」「C：支障あり」により判定願います。

部局が実施する外国における正規生リクルート支援事業申請書

年 月 日

香川大学長 殿

申請者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、外国における正規生リクルート事業を実施したいので、これに要する経費の援助を申請します。

記

訪問先名 所在地	
訪問の目的 (どのような学生をリクルートして獲得するのかが判るように記載すること。特に正規生以外のリクルート活動を伴う場合には、その意義付けが判るように記載すること。)	
旅行期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日)
訪問先での実施計画の概要 (上記目的を達成するための計画が企画されていることが判るように、リクルート活動の内容、対象者、予想される参加者数など具体的に記載してください)	
事業実施により期待される効果	
渡航に要する経費 (参加予定者の合計金額を記載する) 参加人数 人、 航空賃： 千円、 滞在費： 千円	

- (注) 1. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。
2. 訪問に関する相手先との交渉状況が分かる書類等を添付する。

外国人留学生奨学援助事業〔(A), (B), (C)〕在籍確認簿

氏名	所属	国籍	支給額
			／月

支給月	確認日	署名
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	

外国人留学生奨学援助事業〔(A), (B), (C)〕実施報告書

年 月 日

香川大学長 殿

研究科

専攻

受給者

所属

学部

学科

氏名

(署名)

下記のとおり報告します。

記

奨学金受給期間	年 月 日 ~ 年 月 日
受給額	奨学金 月 _____ 円 計 _____ 円
奨学金受給による成果 または 受講科目名及び単位数 (1,000字程度で 記入願います)	(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

外国へ留学する学生援助事業実施報告書

年 月 日

香川大学長 殿

研究科

専攻

受給者 所属

学部

学科

氏名

印

下記のとおり報告します。

記

留 学 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日
受給額	円
奨学金受給による成果 (1,000字程度で 記入願います)	(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

外国へ留学する学生援助事業実施報告書

Report on Scholarship Student

年 月 日

受給者 所属 _____ 研究科 _____ 専攻 _____
学部 _____ 学科 _____

氏 名 _____

留学先大学名 _____

留学先大学の指導教員所見 (留学による成果等)

Supervisor evaluation of student academic performance while studying abroad

_____ 年 月 日

Date

指導教員氏名 _____

Name

(様式4-5)

部局が実施する交流協定校等への短期訪問援助事業実施報告書

年 月 日

香川大学長殿

研究科

専攻

受給者 所属

学部

学科

氏名

下記のとおり報告します。

記

旅行期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (日)
短期訪問による成果 (1,000字程度で 記入願います。)	(どのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
所感(反省点、改善点等) (1,000字程度で 記入願います。)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

(様式4-6)

部局が実施する外国における正規生リクルート支援事業実施報告書

年 月 日

香川大学長殿

研究科

専攻

受給者 所属

学部

学科

氏名

下記のとおり報告します。

記

旅行期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (日)
事業実施による成果 (1,000字程度で 記入願います。)	(どのような成果が生じたか、または成果の見込みを具体的に記述してください。)
所感(反省点、改善点等) (1,000字程度で 記入願います。)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

香川大学グローバル人材育成特定基金支出報告書

年 月 日

香川大学長 殿

所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

以下のとおり支出状況を報告します。

○ 事業名：

○ 研究課題名

○ 支給金額：

○ 項目別支出決算表（単位：円）

経費内訳※	支出額	残額	備考
合計			

※食費、寮費、交通費、その他雑費など詳細を記載してください。